

教科目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てます				主な評価資料				
学習内容	歌唱	器楽(リコーダー、ピアノ、ギター)	鑑賞	楽典	歌唱テスト	器楽テスト	個人カード	プリント	学習態度	
観点	評価規準									
音楽への関心・意欲・態度	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>適した姿勢で歌おうとする。</li> <li>口をしっかりと開け歌おうとする。</li> <li>暗譜で歌うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適した姿勢で演奏しようとする。</li> <li>曲の最後まで演奏することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>記号の読み方・意味を理解しようとする。</li> <li>階名・音名を理解することができる。</li> <li>楽譜を写譜することができる。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>適した姿勢で意欲的に歌おうとする。</li> <li>口を縦にしっかりと開け母音・子音を明確に歌うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適した姿勢で意欲的に演奏しようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>より多くの記号の読み方・意味を理解しようとする。</li> <li>階名・音名を正確に理解することができる。</li> <li>楽譜を正確に写譜することができる。</li> </ul>	○	○	○	○	
音楽的な感受や表現の工夫	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌の出だしを伴奏に合わせて入ることができる。</li> <li>おおむね正確なフレージング、歌詞割りで歌うことができる。</li> <li>強弱をつけて歌うことができる。</li> <li>ふさわしい曲想で歌おうとする。</li> <li>伴奏を聞きながら、合わせて歌おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おおむね正確なフレージングで演奏することができる。</li> <li>強弱をつけて演奏することができる。</li> <li>ふさわしい曲想・速度で演奏することができる。</li> <li>拍を感じながら演奏しようとする。</li> <li>豊かな響きで演奏しようとする。</li> </ul>							
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌の出だしを伴奏に合わせて正確に入ることができる。</li> <li>正確なフレージング、歌詞割りで歌うことができる。</li> <li>幅広く強弱をつけて歌うことができる。</li> <li>ふさわしい曲想で表情豊かに歌おうとする。</li> <li>伴奏を聞きながら、自分でテンポを感じ歌おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確なフレージングで演奏することができる。</li> <li>幅広く強弱をつけて演奏することができる。</li> <li>ふさわしい曲想・速度で表情豊かに演奏することができる。</li> <li>拍を感じながら積極的にテンポをとり演奏しようとする。</li> <li>豊かな響き・音色で演奏しようとする。</li> </ul>			○	○	○		
表現の技能	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな声量で歌うことができる。</li> <li>曲に合った発声で歌うことができる。</li> <li>正しい音程で歌うことができる。</li> <li>リズムや音をはば正確に歌うことができる。</li> <li>的確な場所でプレスをとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな音量で演奏することができる。</li> <li>正しいタンギングができる。</li> <li>リズムや音をはば正確に演奏できる。</li> <li>的確な場所でプレスをとることができる。</li> <li>正しい指使いで演奏することができる。</li> <li>ミスが少なく演奏できる。</li> <li>高音をひっくりかえらずにだすことができる。</li> </ul>							
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな声量で身体全体から声を出し歌うことができる。</li> <li>曲に合った発声でより響かせて歌うことができる。</li> <li>伴奏をよく聴き、正しい音程で歌うことができる。</li> <li>リズムや音を正確に歌うことができる。</li> <li>的確な場所ですばやくプレスをとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい呼吸法を用い豊かな音量で演奏することができる。</li> <li>曲に応じたタンギングができる。</li> <li>リズムや音を正確に演奏できる。</li> <li>すばやくプレスをとることができる。</li> <li>ミスすることなく演奏できる。</li> <li>高音を美しくだすことができる。</li> </ul>			○	○	○		
鑑賞の能力	B			<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な音楽を、想像豊かに鑑賞することができる。</li> <li>楽器の音色や奏法、その音楽の時代背景や地域の特徴を理解することができる。</li> <li>作曲者の生き方について理解することができる。</li> </ul>						
	A			<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な音楽を、想像豊かにより深く鑑賞することができる。</li> <li>楽器の音色や奏法、その音楽の時代背景や地域の特徴をより深く理解することができる。</li> <li>作曲者の生き方について詳しく理解することができる。</li> </ul>			○	○		